

クローズアップ NGO・NPO

特定非営利活動法人

グッドネーバーズ・ジャパン

どんなに遠くても支援を必要とする人々の隣人でありたい

グッドネーバーズ・ジャパンとは

グッドネーバーズは、自然災害、飢餓などで苦しんでいる世界中の人々の緊急支援と開発を目的に、1991年に韓国で設立されました。「支援される側から、支援する側になろう」と8人の有志がグッドネーバーズを立ち上げ、当初は国内の結核患者や孤児の支援に始まり、次第に国外での災害時の緊急支援、開発途上国の地域開発支援など、海外にも活動の場を増やしてきました。

2004年にグッドネーバーズ・ジャパン、2005年にグッドネーバーズ・USAが開設されてからは、支援対象国も増え、現在は世界20カ国以上で子どもの教育支援、農業開発、職業訓練など、それぞれの地域で必要とされる活動を現地コミュニティの人々と共に行っています。

国際NGOグッドネーバーズの日本法人であるグッドネーバーズ・ジャパンは、インド・インドネシア・カンボジア・バングラデシュ・ネパール・ケニア・エチオピア・チャドのアジア・アフリカの8カ国において、主に子どもの支援を中心とした事業、コミュニティ開発事業を実施しています。また、地震や洪水などの災害時には緊急支援活動も行っています。

活動①— 子どもの教育支援を軸にした コミュニティ開発事業

グッドネーバーズのスタッフは、車では入れない奥地まで入り込み貧困に苦しむ家庭を一軒一軒訪ねて回るなど、地域住民と緊密な関係を大事にし、日々の活動を行っています。

例えば、ネパールに住むある男の子、アニールの家族は、象に家を壊され、村の人が貸してくれた、今にも倒れそうな家に住んでいました。

家族の収入は政府の生活補助金300ルピー（約380円）と父親が歌を歌って貰う稼ぎがすべてで、毎日食べていくのがやっとでした。アニールは学校に行くこともできず道で先生に会っても避けていましたが、グッドネーバーズの支援により

学校に通い始めると、先生にも元気に挨拶をして、質問にもきちんと答えられる子になりました。

私達が展開している、教育・公衆衛生・保健医療・農業開発や職業訓練といった支援活動は、子どもと子どもを取り巻く地域住民の生活環境の改善を目的とし、子どもに焦点を当てた活動が中心です。なぜなら、子どもは国の未来・国の基礎であり、子どもがどのような教育を受け、どのような環境で成長するかでその国の未来が変わるからです。

先程紹介したネパールの男の子も、教育を受けられるようになったことで、彼の将来の可能性が広がりました。このような子どもが増えれば、国の未来も変わってくるでしょう。



アニールの家族が住んでいた家



アニールと家族

活動②— 過去最大規模の被害、 パキスタン洪水緊急支援

2010年7月末から北西部を中心に降った豪雨による大洪水は、インダス川に沿って拡大、国土の5分の1が被害を受け、建国史上最悪の水害となりました。

グッドネーバース・ジャパンは、北部Nowshera郡リサルプール地域において、障害を持った人や現地のマイノリティであるクリスチャンの人々を中心に、315世帯1,200人を対象に緊急支援を実施しました。

この地域はパキスタン軍から食料、水などの支援を受けていましたが、人々は小学校やテントの床に薄い布一枚を敷いて寝ている人が多く、睡眠環境が悪いと体力が低下し、病気にも罹りやすくなります。このような理由から、グッドネーバース・ジャパンは、マットレス、シーツ、枕、夏用タオルケット、そして間もなく氷点下になる冬に備え、暖かい掛け布団を配布しました。

普段、緊急支援で物資の配布をするときには、学校など大きな敷地に村の人々を集め、大々的に配布をすることが多いのですが、今回のパキスタンでは、目立つと外国人を狙った誘拐の被害にあったり、爆破されたり、銃撃されたりする危険があったので、小型トラックで10カ所ほどをまわり、静かに、少しずつ配布しました。

当日は、現地のボランティアが私達の物資配布を手伝ってくれたのですが、彼らに謝礼を手渡そうとした時、全員に辞退されてしまいました。そして逆に、「自分たちはそんなつもりで手伝ったわけではない。地域の人のためにボランティアでやったのだからお金など要らない」と猛烈に怒られてしまいました。彼らも洪水の被害を受け、いろいろなものを失ったはずなのに…。

パキスタンというと、イスラム過



マットレスを受け取った、テントで避難生活を送る女性たち

激派による武力紛争のため、日本ではあまり良いイメージがないかもしれませんが、普通の人々は平和を望み、困っている人のためにボランティアをしてくれる人たちがいます。一刻も早く被災した人々が元の生活に戻り、パキスタンに平和が訪れてほしいと思います。

自治体への提言・要望

今後は事務所のある文京区で、写真展や学校での国際開発教育にも力を入れていきたいと思っています。自治体から人の集まる場所を提供していただき、写真展などを開催して地元の方たちに途上国の状況や児童労働の現状、グッドネーバースの活動を紹介したいと思います。また、学校の先生方と共に、小中学校での開発教育のお手伝いもさせていただけたらと思います。

同じ地球市民として、 途上国の子どものために

いまだに世界には、飢餓や貧困といった、日本では考えられない不条理な状況が存在しています。

—— 飢餓のない世界を実現すること。

—— 予防できる病気で命を落とすことのない世界を実現すること。

—— すべての人々が、どんな理由であれ、差別されたり疎外されたりすることなく、尊厳をもち安心して暮らせる社会を実現すること。

グッドネーバース・ジャパンは、このミッションを達成するために、情報を日本の皆様に発信して一人でも多くの方に継続的なご支援をお願いすると共に、国際協力事業にご賛同いただける企業・法人の皆様と協働し、途上国の子どもたちを取り巻く環境を改善していきたいと思っています。

日本もまた、戦後は国連や海外の援助を受け、成長してきました。そして今でも、日本は貿易を通じて多くの国に支えられています。飢餓や貧困、児童労働などは途上国だけの問題ではなく、そこが同じ地球上である限り私たちも関係しています。第三者として「援助する」のではなく、同じ地球市民として「助け合う」という姿勢で、私たちは活動しています。